

自治会での女性参画における
コミュニティ活性化の事例について
～那珂川市王塚台区～

2024年2月13日

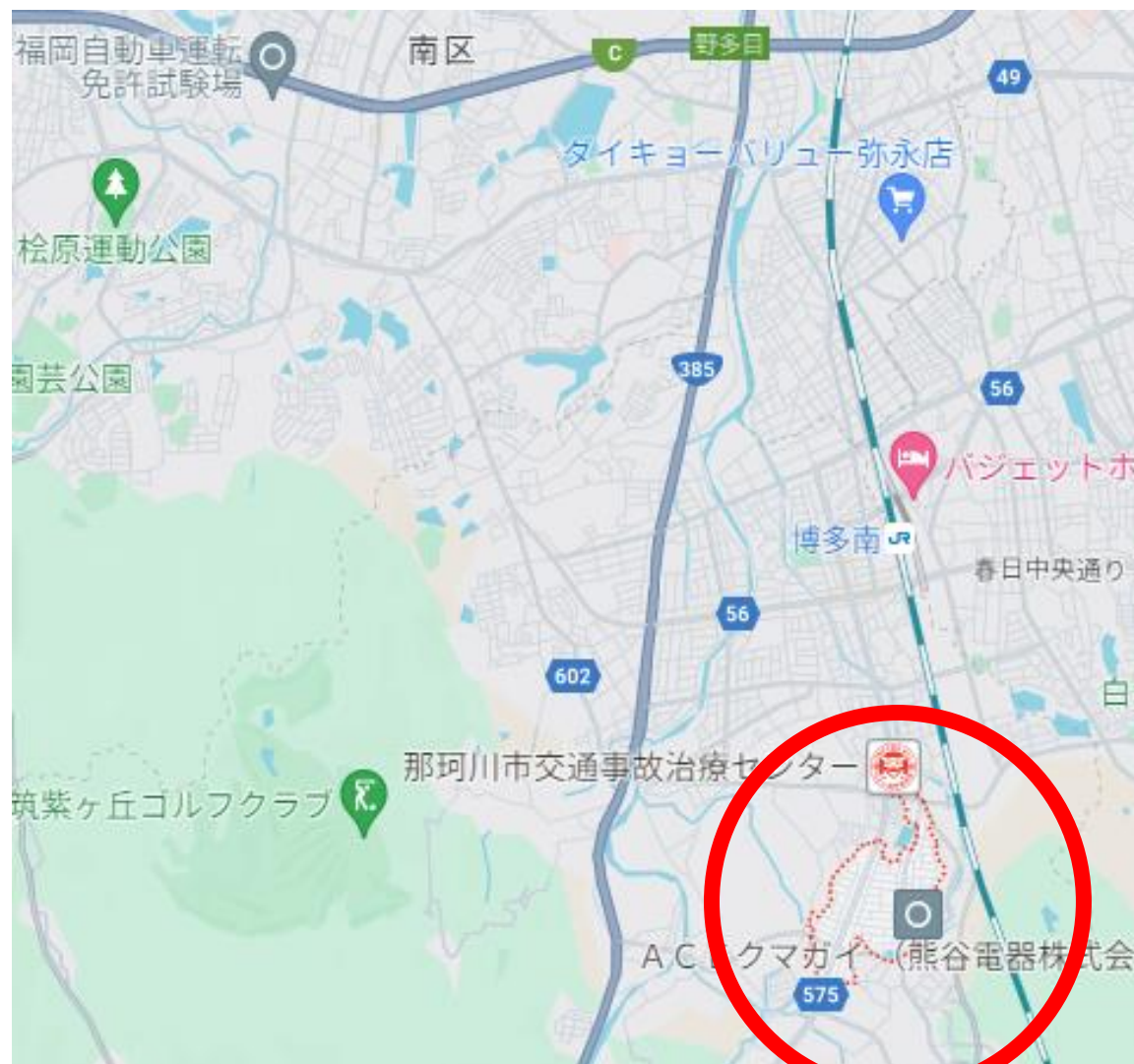
吉塚合同庁舎にて

福岡県那珂川市王塚台区自治会
会長 八代由美

自己紹介

- ・昭和51年 5月 福岡大学体育学部教育技術職員（至昭和54年3月）
- ・平成 4年 4月 王塚台区公民館役員 公民館長（至平成28年3月）
- ・平成 7年 4月 障がい者福祉作業所はあ～もに～指導員(至平成8年8月)
- ・平成11年 8月 生活サポートワーカーズくるみ南那珂川ヘルパー(至平成13年2月)
- ・平成13年 4月 那珂川町議会議員(至平成21年3月)
- ・平成26年 1月 介護福祉士 社会福祉法人グリーンコープふくしサービスセンター(至現在)
- ・平成28年 4月 那珂川町(現那珂川市)王塚台区長・王塚台区自主防災会会長(至現在)
- ・現在の役職
筑紫人権擁護委員協議会委員(至現在)
福岡県男女共同参画審議会委員
福岡県地域強靱化計画委員会委員
福岡県自主防災組織連絡会 会長
那珂川市男女共同参画審議会委員
那珂川市自主防災協議会 会長
那珂川市環境審議会委員
那珂川市地域公共交通活性化協議会委員
那珂川市障害者施策推進協議会委員
那珂川市立安德南小学校運営協議会会長
春日署補導員連絡会、那珂川市青少年指導員 など

王塚台区の地図



那珂川市王塚台区の紹介

那珂川町から那珂川市へ（50,004人）

平成30年10月1日市制施行（全国792番目）

王塚台区について

- ★「気持ちよく暮らせる王塚台」をスローガンに活動
- ・1980年代に開発された住宅地で、99%が一戸建て
- ・現在 人口約2,300人、世帯数約1,000世帯
高齡化率41.6%
- ・一時期子ども会の人数も減少していたが、140人を越し10年前の2倍になってきた

那珂川市王塚台区の紹介

○ 視察実績

静岡県吉田町、宮崎県三股町など・・・

○ 2018年11月に内閣府で開催された「女性自治会長情報交換会」に福岡県から参加

○ 事例集への掲載

2018年女性自治会長活動事例集掲載「子どもたちから高齢者、みんなを巻き込んでの地域づくり」
(内閣府より取材)

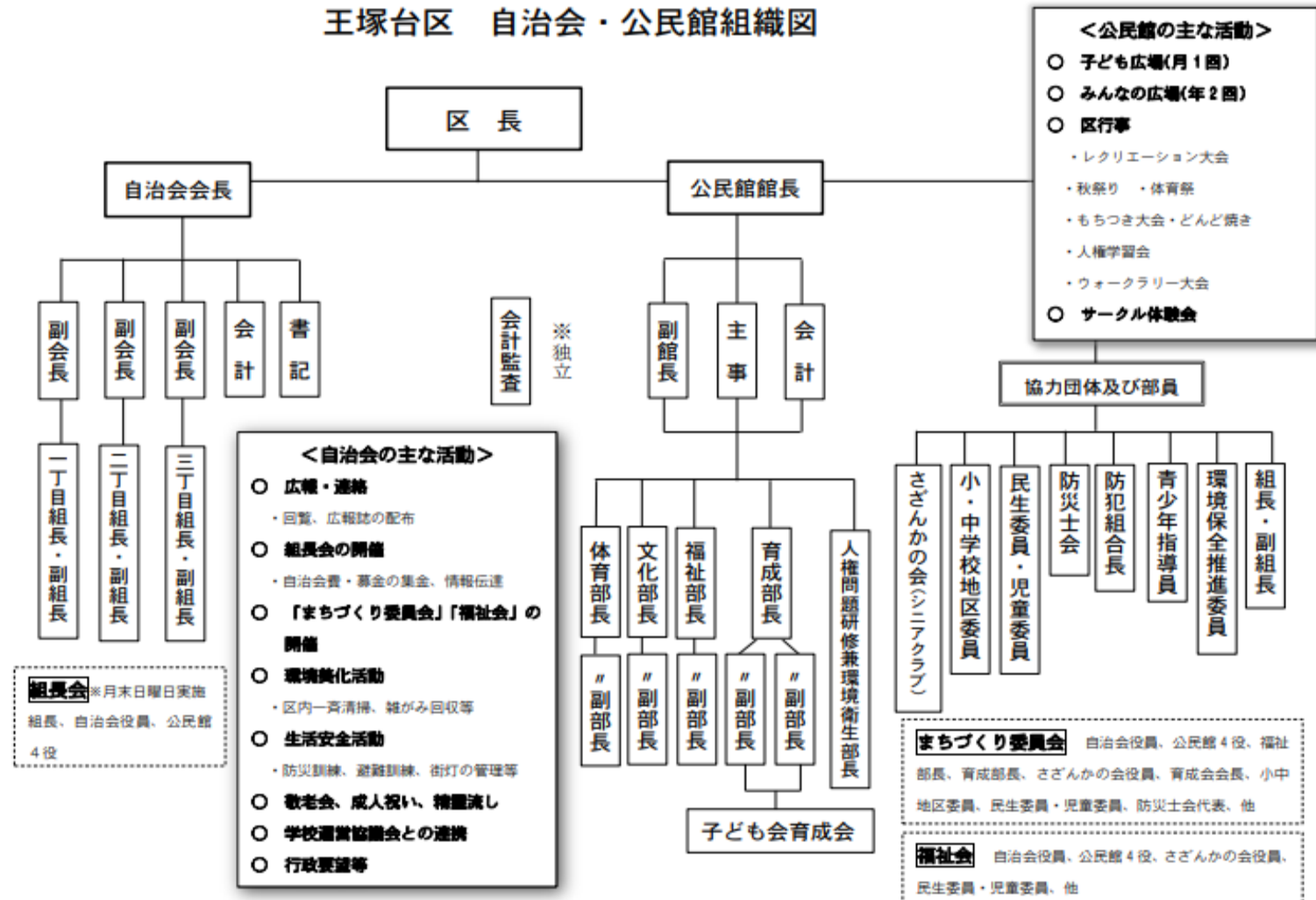
○ NHK出演や取材 「防災」「男女共同参画」など

自治会の役割

- 地域の課題解決や地域社会の維持・形成を目的とする
- 環境美化や地域の安全を実現
- 地域の課題に対する議論
- 防災や地域のつながり
 - ・大規模災害時など一人暮らしや要支援者に声をかけたり助け合うこと
 - ・相談できる人が身近にいること

自治会・公民館組織図

王塚台区 自治会・公民館組織図



- <公民館の主な活動>**
- 子ども広場(月1回)
 - みんなの広場(年2回)
 - 区行事
 - ・レクリエーション大会
 - ・秋祭り ・体育祭
 - ・もちつき大会・どんどこ焼き
 - ・人権学習会
 - ・ウォークラリー大会
 - サークル体験会

- <自治会の主な活動>**
- 広報・連絡
 - ・回覧、広報誌の配布
 - 組長会の開催
 - ・自治会費・募金の集金、情報伝達
 - 「まちづくり委員会」「福祉会」の開催
 - 環境美化活動
 - ・区内一斉清掃、雑がみ回収等
 - 生活安全活動
 - ・防災訓練、避難訓練、街灯の管理等
 - 敬老会、成人祝い、精霊流し
 - 学校通学協議会との連携
 - 行政要望等

組長会 ※月末日曜日実施
組長、自治会役員、公民館
4役

まちづくり委員会 自治会役員、公民館4役、福祉
部長、育成部長、さざんかの会役員、育成会会長、小中
地区委員、民生委員・児童委員、防災士会代表、他

福祉会 自治会役員、公民館4役、さざんかの会役員、
民生委員・児童委員、他

子ども会育成会

王塚台区の特徴（めざすあり方）

- いろいろな方が参画している自治会
男性・女性・高齢者・子育て世代・こどもなど・・・
- 得意なことはそれぞれ違う
それぞれの強みを生かす場所⇒自治会・公民館活動
- ひとりひとりが主役になれる場所
＝王塚台自治会でありたい

王塚台区の女性役員数

役員名	人数	女性役員数	割合
自治会	6人	4人	66.6%
公民館	13人	9人	69.2%
民生委員児童委員	3人	1人	33.3%
防犯組合	2人	1人	50%
防災士会	9人	5人	55.5%
子ども会育成会	3人	3人	100%
小学校地区委員	3人	3人	100%
中学校地区委員	3人	3人	100%
環境保全委員	1人	1人	100%
青少年指導委員	3人	2人	66.6%
			平均74.1%

王塚台区まちづくり委員会・福祉会 「気持ち良く暮らせる王塚台」をめざす会議

「**まちづくり委員会**」…毎月第3(木)19:00~

- ・自治会役員、公民館4役、防犯組合、民生委員児童委員、防災士会、シニアクラブ、子ども育成会、小学校地区委員、中学校地区委員で組織し、情報共有と課題解決に取り組む

「**福祉会**」(子ども関係の委員は除く)…まちづくり委員会終了後

①高齢者向け活動

- ・見守り部⇒75歳以上の家庭を月1回訪問
- ・介護予防部(ふかふかクラブ、体操教室)⇒鍵盤ハーモニカ

②子育て世代の支援

- ・子育てほっとサロン⇒未就園児と保護者

③若い世代も参加できるように

- ・寄っちゃらんねカフェ(年2回は酔っちゃらんねカフェ)

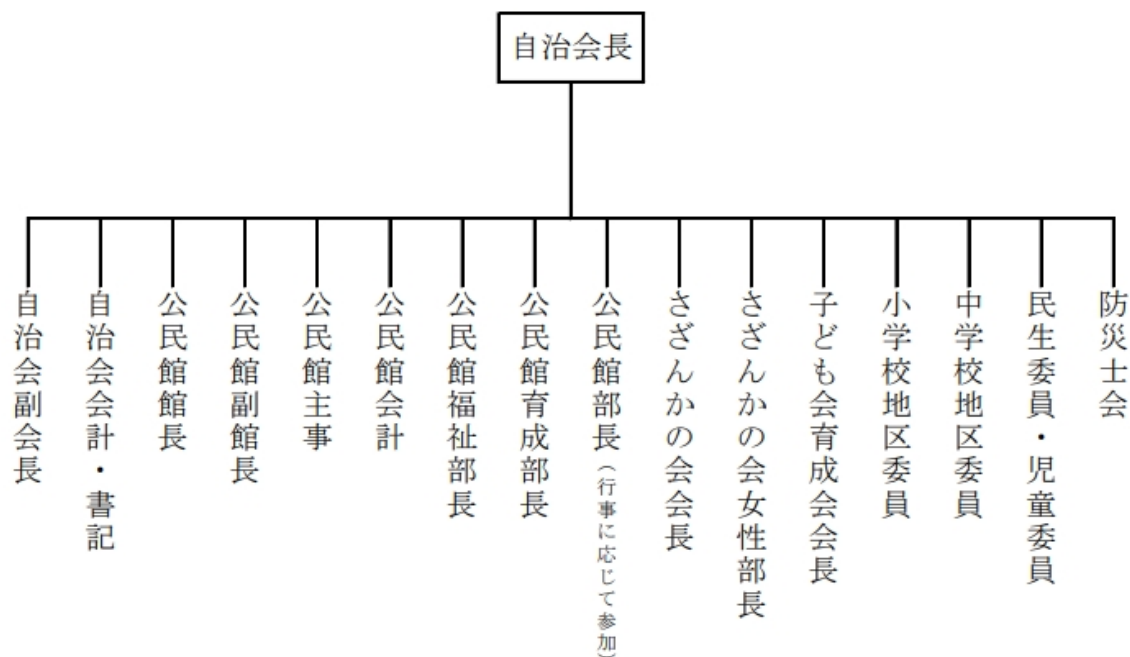
まちづくり委員会組織図

まちづくり委員会組織

2023年(令和5年)4月20日
一部改正

<趣旨>

「気持ち良く暮らせる王塚台」をめざし、下記構成員がそれぞれの活動の連絡を取り合う事により、一層の相互理解と連帯を深め、お互いが協力しながら各組織の活性化を図ることを目的とする。



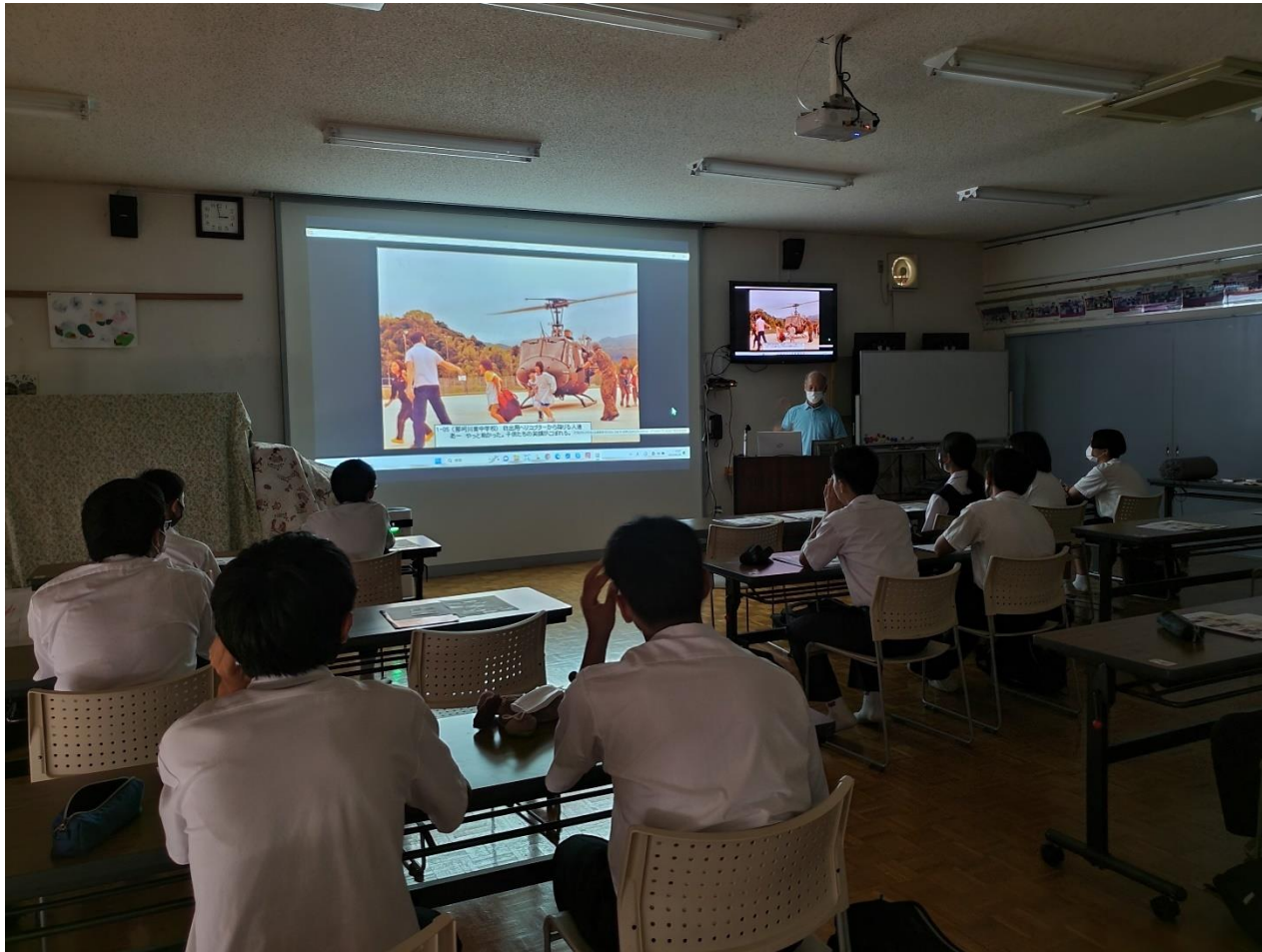
コミュニティスクール・那珂川南中学校 (地域貢献活動・地質調査)



コミュニティスクール・那珂川南中学校 (地域貢献活動・断層調査)



コミュニティスクール・那珂川南中学校 (地域貢献活動・過去の水害写真)



コミュニティスクール・安徳南小学校 575俳句で交通安全標語活動



コミュニティスクール・安徳南小学校 575俳句で交通安全標語活動



那珂川市自治会女性役員参画推進補助金

内容：要件を満たした自治会に10万円（20万円）を交付

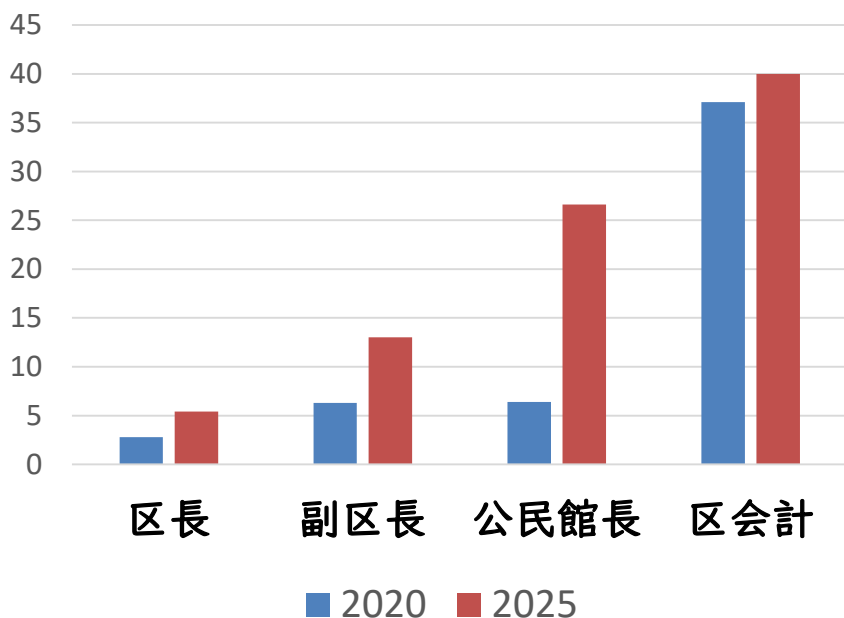
1. 自治会の役員の総数に占める**女性の割合が3割以上**
2. **自治会長が女性**であること

事業のポイント

1. 自治会に参加する人ではなく、方針決定に参画する女性を対象とすることで、男性が担ってきた自治会運営への**女性視点の反映**及び人口減少に伴う存続が難しくなっている**組織の再構築**を図る
2. 行政主導ではなく、自治会の**自主的な働きかけ**を企図した取り組み
3. 3年間（R3～5年度）の**時限事業**による女性参画のきっかけづくり

那珂川市自治会女性役員参画推進補助金

4役に占める女性役員比率



事業成果(抜粋)

女性役員の増加

★公民館長の女性比率

2020年 6% ⇒ 2025年 29%

女性参画の萌芽

3年間で、「女性区长」や「女性役員が3割以上」の要件を満たした自治会は、12自治会(37自治会中)

しかし、自治会長(区长)から「初めて女性役員が誕生した」「役員の仕事の見直しを行いたい」などの意見が報告されるなど地域活動への女性参画の兆しが報告された

補助金の活用

福岡県「地域のリーダーを目指す女性応援研修」

- ・令和3年2人、令和4年1人の研修費用の2分の1を補助

(残りの2分の1は男女共同参画補助金を活用)

- ・参加者は実質自費は出さなくて参加できる

那珂川市防災士養成講座

- ・10人の昼食代を補助

那珂川市防災士養成講座参加者

- ・地域の区長推薦時に、ぜひ女性を1人以上推薦するように、案内文章に加筆を要望した
- ・現在の防災士資格取得者の男女の割合
(2023年度は予定)

2022年度まで 97人中29人(王塚台9人中5人)

2023年度 54人中21人(王塚台4人中2人)

合計 151人中50人 33.1%

地域が主体となった防災活動

主な防災活動

- ・防災訓練 ・消火避難訓練（年2回）
- ・地域貢献活動・自治会便りを通じた広報活動
- ・防災士会会議（各防災活動の計画実施）

★原資は雑紙回収(月1回第2火曜日)収益金

AEDのリース代、防災倉庫、発電機、備蓄品、
防火カーテンなどを購入

※簡易トイレや消費期限が迫った備蓄品は地域貢献
活動時など使用方法を説明して配布

コロナ禍で活動を整理

防犯パトロール（年2回夜間に行っていた）

高齢化が進む中、夜間のパトロールは足元が暗くつまずいたりすると危険なため中止し、自治会役員が車に「防犯パトロール実施中」のステッカーを張って常時区内を回るようにした

組長会議

三密を防ぐため、各丁目毎の開催とし、30分を基本とした

夏祭りを秋祭りに時期を変更

- ・熱中症対策になった
- ・公民館を使用しているサークルに出店や出演を依頼
- ・商工会に地元の店などの紹介を依頼（キッチンカー等が入ることで事前準備が少なくなり役員も祭りを楽しめるようになった）

★伝統を大切にしながら、良い方向に変えられることは変えていく²²

誰もが参加しやすい会議に

★出やすい時間と事前の打ち合わせによる議事の整理

「自治会会議」

- ・自治会は、配布物（月2回）の日の午後で開催
（まちづくり委員会や組長会の議題を確認）

「公民館役員会」

- ・仕事をしている人が多い公民館役員会議は、土曜日の夕方
（事前に必ず4役会を開催し議題を確認）

「子ども会育成会」

- ・公民館役員会終了後などを利用して開催

「まちづくり委員会・福祉会」

- ・見守りなどの情報で支援体制がすぐにとれるように、包括支援センターや社会福祉協議会に同席を依頼

防犯と環境美化や高齢者見守り

《ぶらぶらパトロール》

20年位前に空き巣被害が多発していた。困りごとアンケートを取り、パトロールのボランティアを募集。火曜日と金曜日の週2回午前9:30から各丁目の公園にゴミ袋とトングを持って集合し、30分～40分位、パトロールと環境美化に努めている。以前、苦情が多かった犬の糞もほぼ見なくなった。また、ボランティアの健康増進にも繋がっている。令和元年に全国表彰をされた

《高齢者見守り》

役員一人が3人～6人を担当し、月に一回訪問をしている

ふらふらパトロールと高齢者見守り



美化活動を兼ねた
ふらふらパトロール(週火・金)



高齢者見守り(月1)

那珂川市住民参画条例を活用した 那珂川市子どもの権利条例

- ・地域で気になる子どもがいる時、地域として何ができるか考えたが、自治会に入っていないとなかなかその家庭の様子がわからない
- ・そこで、子どもの権利を主体とした「子どもの権利条例」を作ることが必要と考えた
- ・住民提案の第一号「子どもの権利条例」

2021.4.1施行

- ・これこそが住民自治であり住民参画!
- ・行政と住民が一体となって問題解決に取り組める!

未来を見すえて 自治会で取り組んでいること

★「防災」

今年1月1日の平成6年能登半島地震を見て、現在ある自主防災の規約や組織などでは、実際に活動できないと判断し、見直しを行っている。また、自治会加入を100%にし、地域力で防災

- ①災害時には役員であっても自助が第一⇒交代できる組織に
- ②家庭で備蓄品の（水、食料や卓上コンロのガス等）ローリングストックをすすめる
- ③「防災の知恵」を月2回の自治会だよりで紹介
（2年前から防災士に原稿を依頼して実施）

★「公民館建て替え」

1986年に建設されたので、12年後には50年になる。今から節約と、建設費用の借り入れなど検討に入っている

自治会で重要と考えていること

- いろいろな人の話を聞く
- 地域のニーズを知るためにアンケートを取る
- 話し合いの中で共有し、解決策を探す
- 自分たちでできることは自分たちで
- 自分たちにはできないことは行政に相談する
- 防犯や防災の課題も、知恵や経験を持って
いる人を頼る
- やってみてダメなら見直しや、改善していく

ご清聴ありがとうございました